



週報

入間ロータリークラブ



地区テーマ
友だちをつくろう

2020-2021 RI 会長:ホルガー・クナーク RI2570 地区ガバナー:相原 茂吉 会長:忽滑谷明 幹事:繁田光

第8号 3142会 2020年 9月3日(木)

<ビジター・ゲスト>

米山記念奨学生ブサル・リラ バルラブ様



日本に来て5年が経ち、好きな食べ物は麺類が大好きで、寿司や納豆も食べます。牛肉は食べれないので外食はいたしません。

<今月のお祝い>

会員誕生日	間野尚君 友野政彦君
夫人誕生日	岩崎芳江様 天野幸子様 吉沢真紀子様 後藤二三江様
結婚記念日	奥富茂生君

<◆会長の時間◆> 忽滑谷明会長

9月は「基本的教育と識字率向上月間」及び「ロータリーの友月間」です。

ロータリーは地域及び世界の基本的教育と識字率を高めるよう奨励されています。一般的に世界のあらゆる地域の人々が幸福に暮らすためには、最低限の基本的教育を受け読み書きの能力が重要です。また「ロータリーの友」については、1952年に日本の地区が東日本と西日本の二つに分割された際、2地区で共通の雑誌を発行することが決定し、日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌として企画されたものだそうです。現在、RIよりロータリー地域雑誌に指定され、皆さんご承知の通りロータリークラブ会員には購読義務があります。内容については、国内の活動、RIの活動や方針の紹介を中心に、会員同士の意見交換、地区大会やIMの講演や卓話の要旨等を掲載しています。電子版やウェブサイトも利用できます。



私は、2007年6月に入会して以来、「ロータリーの友」を本棚に保管しております。先月まで約13年間で158冊になりました。ちなみに地区の「ガバナー月信」や入間RCの「週報」も入会依頼すべて保管しております。折に触れて読み返し必要な時に参考にしたり、また懐かしんだりしております。今までの「週報」を見たりして、ロータリークラブに入会してからの活動を振り返るとロータリークラブに入会して本当に良かったし、皆さんと出会えました事を嬉しく思い感謝申し上げます。ありがとうございました。

<幹事報告>

繁田光幹事

1. お手元に配布されてます、地区大会のご案内資料ですが、地区大会の開催につきまして、まだ不確定な事項が多いので、ご了承下さい。
2. 10月は1日本曜日、15日本曜日に例会を開催する予定ですが、例会のプログラムについては、未だ決まっておられませんので、ご了承下さい。
3. 9月のロータリーレート106円



●委員長報告

[ロータリー情報委員会] 関谷永久委員長
「ネパールの学童に教育装備品支援プロジェクト報告」

6月15日にカトマンズ市内のロックダウンが一部緩和され残りの支援品の進捗状況が添付されて8月27日に届きました。報告書に依ると未だ幾つかの支援品が未達成となっています、早期に支援が達成出来た後モニタリングを行います。今もカトマンズ市内ではコロナウイルスの感染が拡大しているとの事です。

❁横組み 28 頁「米山記念奨学事業基礎知識」
9月号では寄付金制度について書かれています。普通寄付と特別寄付がありますが、来月の米山月間には菅野委員長から寄付に、ご協力よろしくお願ひいたします。

❁横組み 35 頁「連載漫画のポール・ハリスとロータリー」

今月号ではポールハリスが大学卒業後弁護士になるまでの5年間、旅行をしながら様々な仕事をして人間の幅を広げる前半部分のお話になっています。

❁横組み 47 頁から「エバンストン便り」
国際ロータリー理事会での決定事項要約

❁縦組み 4 頁「地区大会記念講演記事紹介」
世の中をきちんと見るための方法論としてタテ・ヨコ・エビデンスが大切だという説得力のあるとても面白い記事で、これからは変態を育てていかなければダメだと締め括っています。

<ニコニコBOX> 一柳達朗副SAA

★間野さん今日はよろしくお願ひします。
「忽滑谷明君、繁田光君、吉沢誠十君、後藤健君」

★卓話遣らせて頂きます。狭山ヶ丘高校優勝おめでとう。野球部OBなのに忘れていました。
「間野尚君」

★SAA 代理なのに5分遅れてすみません。馬路さん、例会スタートの代役ありがとうございました。
「一柳達朗君」

本日¥33,000 累計¥172,313

■回覧、配布物

- ① ガバナー月信 8月号
- ② ロータリーの友 9月号
- ③ バギオ便り Vol. 80
- ④ 茶の香めーる Vol. 77
- ⑤ 基本的教育と識字向上月間ご案内
- ⑥ 地区大会プログラム
- ⑦ 10/12 地区大会記念ゴルフ出欠表
- ⑧ 他ロータリークラブ週報&お知らせ
- ⑨ 入間クラブ週報 7号

■会員卓話「我等の生業」■

❁間野尚会員❁

間野製作所は、精密板金加工部品の製造、組立、配線を行う従業員20名の会社で、2019年11月に20周年を迎えます。所沢市で起業し、複写機等の量産部品供給をベ



ースに事業展開していましたが、2002年11月に入間市根岸(現狭山台)に移転し、三次元CADをいち早く導入し光学系部品や医療系部品の試作・開発品を迅速かつ正確に製作する体制を整えました。2011年に外食産業の人員不足対策に不可欠な「業務用全自動洗米機/炊飯機ライスミニ(ライステクノプロダクト株式会社)」の部品加工から組立生産、検査を請負うこととなりました。ライスミニとは、45kgから500kgの貯米庫にお米を投入し、水加減、炊上がり時間を設定し、スタートスイッチを押すだけで所定量を量り洗米する装置です。飲食店やスーパーマーケット、病院、学校、社員食堂などで使用されています。ライスミニは日本水道協会認証登録品であり、当社は日本水道協会認定の品質確認実施工場として職場環境に誇りを持っています。厳しい製品要求に応えながら、技術力、生産性とも向上させ、ステンレス素材の美しさを生かす技術と寸法精度の正確さは業界随一です。又、大型機500点超、小型機200点超の部品を不足することなく期日内に調達する管理システムも構築しました。2012年4月には、第2工場、翌年2015年3月には、従来外注していた配線を自社対応するために電子機器組立配線専用工場として第3工場も稼動しました。これにより、公共用無線通信システム・コンソール等の大型機器筐体、精密配線一環生産可能な体制になりました。

今後とも「確かな技術に確かな品質を乗せ、自信を持ってお客様へ提供し、地域の発展に貢献する」という方針のもと社会貢献をモットーに邁進してまいります。

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
 ■Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
 ■例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
 ■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：白幡英悟

